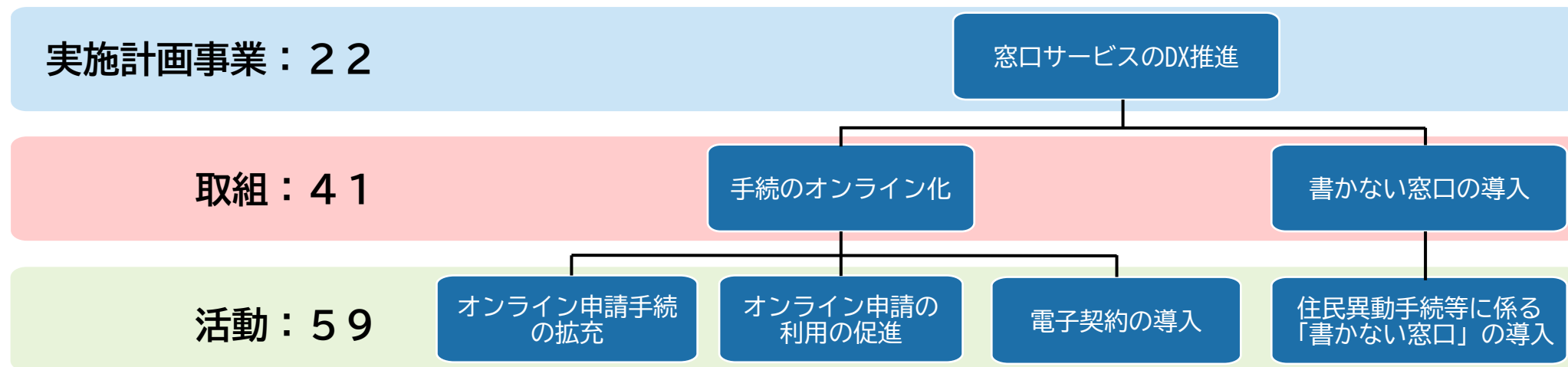


平塚市行財政改革計画(2024-2027) 令和7年度取組結果

1 取組結果の概要

実施計画に位置付けている、22事業、41取組、59活動を実施。

※実施計画の構成イメージ



①目標の達成状況

達成：8件

未達成：4件

標準化業務数、ふるさと寄附金額、クラウドファンディング実施数、公用車利用率

※各年度で指標を設定した全12事業

②財政健全化効果額※

歳入確保：8億2,352万円

歳出削減：4億9,102万円

合計：13億1,454万円

※事業の取組によって生み出された歳入確保額、歳出削減額

③活動の進捗評価

順調：57事業

遅れ：2事業

標準化に対応したシステムへの移行、クラウドファンディングの実施

2 目標の達成状況【資料1-2】

各年度で指標の目標を設定した全12指標中、達成8、未達成4。

	項目名	目標値	実績値
達成	・各課でのBPRに向けた改善策の検討件数 ・職員提案の件数 ・業務改善の件数 ・未利用地等の売却、貸付の件数 ・新たな返礼品の追加数 ・デジタル化実行層への研修等実施回数 ・デジタル化推進リーダー層への研修等実施回数 ・チーム制の浸透を図る研修等の実施件数	79件以上 43件以上 260件以上 10件以上 40品以上 10回 4回 5件以上	80件 65件 450件 12件 144品 10回 4回 5件
未達成	・標準化に対応した業務数 ・ふるさと寄附金の寄附金額（R6:103,623千円） ・クラウドファンディングの実施件数 ・公用車の平均利用率	15業務 前年度以上 3件以上 34.8%	7業務 100,503千円 2件 32.9%

3 財政健全化効果額【資料1-3】

歳入確保

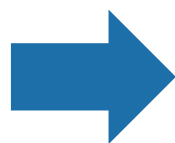
約8億2,352万円

- ・ 債権の適正な管理（1億5,529万円）
- ・ 未利用地等の有効活用（4億196万円）
- ・ ネーミングライツの推進（5,088万円）
- ・ 基金の効率的な運用（1億1,441万円）
- ・ 寄附金の活用推進（5,024万円）など

歳出削減

約4億9,102万円

- ・ 民間活力の活用（3億3,221万円）
- ・ 有料広告の推進（1,438万円）
- ・ 公共施設延床面積の総量縮減（1億4,373万円）
- ・ 公用車利用の最適化（70万円）



**令和7年度 財政健全化効果額：約13億1,454万円
（令和6年度比＋6億0,753円）**

4 主な取組と成果

[目標1] 効率的・効果的な行政サービスの推進

(改革テーマ1) 行政サービスの向上

①書かない窓口の導入

- ・ 窓口サービスのデジタル化による来庁者の利便性向上を図るため、「書かない窓口」を市民課、介護保険課、こども家庭課、保険年金課に導入。
- 利用者の満足度：（目標）80%以上 ⇒ （実績）94%（便利・とても便利）
※【参考】不便とした回答例：「慣れが必要」、「もう少し簡潔な説明があるとありがたい」等

②土木・建築系部署での証明書等自動発行システムの導入

- ・ 利用者の利便性向上や業務の効率化を図るため、各課で閲覧、交付していた証明書等を集約した「まちづくり情報自動発行システム」を導入。（建築計画等概要書、建築確認台帳記載事項証明書、道路台帳図等）
- システムからの証明書等発行割合：（目標）90%以上 ⇒ （実績）98%

(改革テーマ2) 行政サービスの最適化

①民間活力の活用推進

- ・ 民間活力の活用に係る取組方針（2024-2029）に基づき令和7年度に予定していた6件の民間活力を導入。（保育園給食調理等業務、可燃ごみ及びペットボトル・プラクル収集業務の一部、道路維持管理業務、債権回収業務、龍城ヶ丘ゾーン公園整備・管理運営、市営中原上宿住宅建替整備）
- 財政健全化効果額 3億3,221万円（直営経費－民間活力活用経費）

4 主な取組と成果

[目標2] 将来にわたり持続可能な行財政運営の確立

(改革テーマ3) 健全財政の維持

①債権の適正な管理

- 回収困難な一部の債権について、令和7年度から弁護士法人への回収業務委託を開始。
- 財政健全化効果額 570万円（回収金額 - 委託額（成功報酬））
（※回収金額）
公立保育園等給食費負担金49万円、児童手当返還金15万円、児童扶養手当返還金20万円、ひとり親家庭等医療助成費返還金7万円、霊園墓地管理料38万円、住宅使用料142万円、学校給食費437万円

②公共施設延床面積の総量縮減

- 教育会館の耐震改修工事及び長寿命化工事を完成させ、勤労会館と青少年会館を廃止し、令和8年4月1日から平塚市文化公園会館として供用開始する準備を整えた。
- 延床面積5,749㎡減少、財政健全化効果額 1億4,373万円

(改革テーマ4) 人・組織の活性化・最適化

①職員提案・業務改善の推進

- 令和6年度に実施した「若手職員チャレンジプロジェクト」にて提案された「特定課題解決コース」を新たに実施し、職員提案の推進を図った。
- 「業務改善報告の庁内水平展開」をテーマに、職員の階層別研修などで制度を説明。
- 職員提案：（目標）43件 ⇒ （実績）65件、業務改善：（目標）260件 ⇒ （実績）450件
水平展開の実施：（目標）令和9年度までに累計6件 ⇒ （実績）累計25件